

令和5年度

授 業 細 目 (前期)

<1年生>

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 生物学 | 9. 微生物・口腔微生物学 |
| 2. 情報科学 | 10. 歯科衛生学総論 |
| 3. 心理学 | 11. 歯科臨床概論 |
| 4. 英語・歯科英語 | 12. ペン習字 |
| 5. 解剖学 | 13. 手書きポップアート |
| 6. 組織・発生学 | 14. 歯科予防処置論実習 |
| 7. 生理学 | 15. 歯科保健指導論実習 |
| 8. 歯の解剖学 | 16. 歯科診療補助論実習 |

<2年生>

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 保健体育 | 9. 歯科矯正学 |
| 2. 口腔衛生学・歯科保健統計学 | 10. 齲蝕予防処置 |
| 3. 公衆衛生学 | 11. 歯科放射線学 |
| 4. 栄養代謝学 I | 12. マナー教室 |
| 5. 保存修復学 | 13. 歯科予防処置論実習 |
| 6. 歯内療法学 | 14. 歯科保健指導論実習 |
| 7. 歯周療法学 | 15. 歯科診療補助論実習 |
| 8. 歯科補綴学 | |

<3年生>

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 衛生行政 | 5. 介護福祉論 |
| 2. 社会福祉 | 6. 救急蘇生・全身管理学 |
| 3. 社会保険業務 | 7. 歯科保健指導論実習 |
| 4. 高齢者歯科学 | |

一般社団法人 岡山県歯科医師会立

岡山高等歯科衛生専門学院

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】生物学		担当者	青木 宏之	一般
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	遺伝子物質 DNA の構造と働きなどの解明から、生物の発生、成長、分化、進化などの仕組みが次々と理解されるようになり、バイオテクノロジーの進歩は人間の手による生物そのものへの改造、創造にまで迫ろうとしている。我々の生活との関わりが深まる現代生物学における基礎知識として、生命を構成する物質、細胞の構成因子、細胞分裂の仕組み、発生と分化、遺伝の仕組みを説明できることを到達目標とする。				
回数	内 容				
1	【生命の誕生：生命とは何か】 未知なる天体で生命体を探索するとき、どんな基準にしたがって、私たちは生命を探すのか？ 地球誕生から46億年、生命を構成する物質がどのようにして生まれ、組み立てられたかを解説する。				
2	【生命の変遷と進化】 私たちを取り囲む多種多様な生物は、一つの起源から進化したものと考えられている。原始細胞から細菌、原生生物、植物、菌類、動物へと、遺伝情報をもとにどのような環境で、進化してきたかを解説する。				
3	【生命の単位：細胞】 多くの生物は細胞からできている。この基本単位となる細胞はどんな物質が集まってできるのか？ 最近の細胞の研究方法を紹介しながら、細胞の構成成分と構造を解説する。				
4	【細胞：生体膜の集合体】 細胞を構成する生体膜は、生命の起源において、外界と細胞内環境とを隔てる障壁として、非常に重要な役割を担ったとされている。生体膜はどのように形成されるのかを構成脂質分子の特性から解説する。				
5	【細胞の一生と個体の成り立ち】 細胞の生から死への一生を、体細胞分裂の仕組み、細胞周期の過程、細胞死(アポトーシス)を通して、細胞の分化から生まれる個体形成を解説する。				
6	【生命の連続】 生物は子孫として新しい個体を次々と作ることで、生命の連続性を維持している。 この連続性を支える減数分裂・配偶子形成などの生殖メカニズムを解説する。				
7	【遺伝と遺伝子】 生命にとっての遺伝物質 DNA にはどんな遺伝情報が組み込まれているのか？ 生命の設計図の解読から、どんなことが明らかにされたのか？ どんなことに役立つのか？ さらに未知なる事柄を解説する。				
8	【発生して体をつくる仕組み】 生物の形は、生命の設計図に基づき、受精卵から細胞は発生から分化し、形作られている。この過程を概観し、発生過程の基礎研究・再生医療分野で有用なES細胞(胚性幹細胞)とiPS細胞(人工多能性幹細胞)を解説する。				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法		講義ノート・課題レポート・定期試験により総合評価する。			
テキスト		歯科衛生士教本 生物学 全国歯科衛生士教育協議会 監修(医歯薬出版) 改訂版 視覚でとらえるフォトサイエンス 生物図録 鈴木孝仁 監修(数研出版)			
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義・実習】情報科学		担当者	國米 充之	一般
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	情報機器(パソコン)の基本的な操作方法, ネット情報の閲覧・検索、Office を用いた文書作成、さらに情報セキュリティやモラル等の知識と技術の習得				
回数	内 容				
1	Windows 基本操作, ネット情報の閲覧・検索, ネット利用の注意点				
2	Word1 (基本操作): 入力・編集, 表の作成 + 【実習】				
3	Word2 (応用操作): 図形の利用, ワードアート利用 + 【実習】				
4	Excel1: 基本操作, 関数の利用, グラフの作成 + 【実習】				
5	Power Point: 基本操作, スライドのビジュアル表現 + 【実習】				
6	Power Point プレゼン実行操作, 情報モラルについて + 【プレゼン準備練習】				
7	【最終課題】Power Point を使ったプレゼンテーション1				
8	【最終課題】Power Point を使ったプレゼンテーション2				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	実習時の小レポート及び最終課題(PowerPoint を使ったプレゼンテーション)				
テキスト	Microsoft office 2016 を使った情報リテラシーの基礎 切田 節子 他(著), 近代科学社 (ISBN-13:978-4764905207)				
参考書	例題 30+演習問題 70 でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint 標準テキスト Windows8/Office2013 対応版				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】心理学		担当者	鉄川 大健	実務
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	人間の行動原理やコミュニケーションを解説しながら、また、体験学習することで一般的な心理学の知識を習得する。				
回数	内 容				
1	【オリエンテーション】： 日常的な心理学と学問の心理学の違いを知る				
2	【体験学習】： 人との関わりに気づき、それを考える				
3	【知覚心理学】 見る・聞く・感じる (1章)： 知覚のメカニズムを学ぶ				
4	【学習心理学】 学ぶ・覚えるところ (2章)： 学習プロセス、記憶のメカニズムを学ぶ				
5	【パーソナリティ心理学】 その人らしさの心理 (5章)： 人のパーソナリティ、心理検査について学ぶ				
6	【発達心理学】 発達するところ (8、9章)： 人のこころの発達メカニズムを学ぶ				
7	【社会心理学】 人と関わる心理 (10章)： 人との関わりに関するメカニズムを学ぶ				
8	【臨床心理学】 健康なこころ (12章) & カウンセリングのこころ (13章)： メンタルヘルス、心理的支援について学ぶ				
9	期末試験				
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法		出席及び授業態度30点、定期試験70点			
テキスト		最新歯科衛生士教本 心理学/医歯薬出版			
参考書		適宜紹介			

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義・実習】英語・歯科英語		担当者	マーティ クリストファー ジョン	一般
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	一般英語の文法・会話の導入				
回数	内 容				
1	Likes and dislikes				
2	Talking about ability				
3	Overseas experiences				
4	My last trip (past experiences)				
5	Giving advice				
6	Giving instructions				
7	Talking about health				
8	Talking about routines				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	定期試験(筆記)				
テキスト	なし				
参考書	配布プリント				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】解剖学		担当者	宮城 淳	実務（歯科医師）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	医療従事者として、他の職種ともスムーズな連携をはかれるよう、口腔のみならず人体全身の形と構造に関する知識を習得する				
回数	内 容				
1	概論	解剖学の概論			
2	骨格	骨格の概論			
3		全身の骨格			
4	筋肉	筋肉の概論			
5		全身の筋肉			
6	脈管・循環器	脈管の概論			
7	脈管・循環器 呼吸器	全身の脈管			
8					
9	神経				
10	感覚器				
11	消化器				
12	泌尿器				
13	内分泌				
14	生殖器				
15	まとめ				
成績評価の方法	出欠状況・講義受講態度・提出物（レポートなど）・期末試験				
テキスト	人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学				
参考書	生物図録				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】組織・発生学		担当者	石割 裕三	実務（歯科医師）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	人体の組織構造と機能、および人体の発生を学び、理解することにより、歯科衛生士として必要な基礎的知識を習得する。				
回数	内 容				
1	「細胞と組織」 I 細胞 細胞の構造と機能 細胞の一生				
2	II 組織（1） 1. 上皮組織 2. 支持組織				
3	II 組織（2） 3. 筋組織 4. 神経組織				
4	II 組織（3） 皮膚と粘膜				
5	「発生」 I 人体の発生 染色体と減数分裂 精子と卵子の発生 受精と着床				
6	I 人体の発生 4. 胚葉と形成 5. 胎児の成長と発育				
7	まとめ（1）				
8	まとめ（2）				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	出欠状況、講義受講態度、提出物（レポートなど） 定期試験				
テキスト	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1（医歯薬出版） 最新歯科衛生士教本人体の構造と機能 2 栄養と代謝（医歯薬出版）				
参考書	イラストでわかる歯科医学の基礎（永末書店）				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】生理学		担当者	西田 明弘	実務（歯科医師）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	人体の機能のメカニズムと生命現象の基本および生体の恒常性（ホメオスタシス）を理解する。				
回数	内 容				
1	生理学概論 細胞	生理学の概要、生命現象とは何か、生体の恒常性（ホメオスタシス）について 細胞の構造と細胞の生理機能について			
2	血液	血液の成分、血液の機能、止血と血液凝固、血液型と輸血について			
3	筋 心臓	筋肉の構造と機能、筋の収縮機序、運動、筋電図について 心筋および心臓の構造とはたらき、心臓の自動能、心電図について			
4	循環	脈管系の概要、血管の構造、体循環と肺循環、血圧、ショックについて			
5	呼吸	呼吸器の構成、換気の仕組み、肺気量と換気量、ガス交換、呼吸の調節について			
6	神経	神経細胞の基本構造、神経系の分類と基本的機能、中枢神経系、末梢神経系について			
7	感覚	感覚の基本的性質と体性感覚、内臓感覚、特殊感覚および反射について			
8	消化・吸収	消化・吸収の意義、胃・小腸・大腸の機能について			
9	腎機能と排尿 体温	腎臓の働き、尿の生成、尿の一般的性質、排尿のしくみについて 体熱の生産と放散、体温の調節および体温の変動について			
10	内分泌・生殖	内分泌器官と各々のホルモン、性周期とその関連ホルモンについて			
11	まとめ				
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法		定期試験			
テキスト		人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学（医歯薬出版） 人体の構造と機能2 栄養と代謝（医歯薬出版）			
参考書		フォトサイエンス生物図録（数研出版）			

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】歯の解剖学		担当者	宮地 弘治	実務（歯科医師）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	「歯の形態学的特徴を理解」することを通して、歯科衛生士の知識としてのみならず口腔内から見えてくる様々な事柄に興味を持ってもらい、将来の人生や臨床に繋げてもらう。				
回数	内 容				
1	総論 ① 人体の構造における口腔、歯の役割、位置関係、組織的構造				
2	総論 ② 歯の種類（年齢的な移り変わり）、歯式、方向用語				
3	乳歯の形態学的特徴 ①（無歯顎期～1歳6ヶ月）				
4	乳歯の形態学的特徴 ②（1歳6ヶ月～3歳）				
5	乳歯の形態学的特徴 ③（3歳～5歳）				
6	永久歯の形態学的特徴 ①（6歳）				
7	永久歯の形態学的特徴 ②（7歳～8歳）				
8	永久歯の形態学的特徴 ③（9歳～10歳）				
9	永久歯の形態学的特徴 ④（10歳～11歳）				
10	永久歯の形態学的特徴 ⑤（12歳以降）				
11	歯列の形態				
12	歯の異常				
13	咬合				
14	まとめ（歯牙解剖と臨床）				
15	模擬試験・試験対策				
成績評価の方法		定期試験			
テキスト		歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版（株）			
参考書		<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト顔面解剖学（中外医学社） ・トークでひも解く！一本一本の歯の仕組みとセルフケアのお作法（クインテッセンス出版株式会社） 			

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】微生物学・口腔微生物学		担当者	日名 雅彦	実務（歯科医師）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	感染症の病原菌の性状、発症のメカニズムの基本的知識の習得				
回数	内 容				
1	微生物学とは何を学ぶのか 微生物の一般性状（形態・構造） 細菌について				
2	微生物の一般性状 リケッチア クラミジア 真菌 原虫 ウイルス について 微生物の観察方法 顕微鏡による観察法の特徴				
3	感染 微生物の病原性と宿主の抵抗性				
4	感染 感染症の種類、感染の経路 免疫 免疫の機構（免疫応答に関与する細胞）				
5	免疫 免疫の機構（抗原 抗体反応） アレルギー				
6	1～5回までのまとめ				
7	中間試験 解答 解説				
8	病原微生物学各論 グラム陽性球菌・グラム陰性球菌の特徴的な性状				
9	グラム陰性桿菌・グラム陽性桿菌の特徴的な性状				
10	スピロヘータ マイコプラズマ リケッチア クラミジアの特徴的な性状				
11	ウイルス 真菌 原虫の特徴的な性状				
12	化学療法の定義 特徴 副作用 滅菌 消毒についての方法、特徴				
13	口腔内常在微生物				
14	口腔感染症 う蝕、歯周疾患に関する微生物の特徴 病巣感染				
15	8～14回までのまとめ				
成績評価の方法		レポート内容 中間試験 定期試験			
テキスト		【最新歯科衛生士教本】疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学(医歯薬出版)			
参考書		医学書院 系統看護学講座「微生物学」			

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】歯科衛生学総論		担当者	有田 泰子	実務（歯科衛生士）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	専門職として歯科衛生業務を实践するための基盤となる基本的態度を理解し、社会のニーズに対応できる歯科衛生士になるために必要な知識・技術・態度の概要を習得する				
回数	内 容				
1	歯科衛生学の概要				
2	歯科衛生士と保健・医療・福祉の制度				
3	歯科衛生活動のための理論				
4	歯科衛生過程				
5	歯科衛生士法と歯科衛生業務				
6	医療安全とその管理				
7	歯科衛生士と医療倫理				
8	歯科衛生士の活動と組織				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法		定期試験・提出物・授業態度・出席状況			
テキスト		【歯科衛生学シリーズ】 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2「保健・医療・福祉の制度」(医歯薬) 【歯科衛生学シリーズ】 歯科衛生学総論 (医歯薬)			
参考書		徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集 (医歯薬出版)			

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】歯科臨床概論		担当者	木村 里栄	実務（歯科医師）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	歯科医療を担う一員となるための理解を深める。				
回数	内 容				
1	歯科診療とは（歯科臨床の場，関わる人々，受診対象者など）				
2	歯科診療所（スタッフ構成，各ブース配置，動線など）				
3	歯科診療所における安全管理（感染防止，廃棄物処理，インフォームド・コンセント）				
4	歯科診療所における業務（全体的業務，歯科診療と歯科衛生業務）				
5	同（歯科診療所の1日など）				
6	歯科診療の流れ（ライフステージと歯科診療など）				
7	歯科診療で行うこと（主な診療の流れなど）				
8	(1)診査・検査・前処置（バイタルサインの確認，画像検査，歯周組織の検査など）				
9	同（歯周組織検査，痛みのコントロールなど）				
10	小児歯科（先天異常への対応，齲蝕予防処置，フィッシャーシーラント，フッ化物）				
11	歯科矯正（不正咬合と矯正歯科医療，矯正歯科治療の概要など）				
12	口腔外科（外相治療，抜歯，口腔粘膜疾患処置など）				
13	歯科保存（象牙質知覚過敏症，歯冠部齲蝕，根面齲蝕，歯内療法，ホワイトニング）				
14	歯周治療（全身疾患との関わり，歯周基本治療，歯周外科治療，メンテナンス）				
15	歯科補綴（固定義歯，有床義歯など）				
16	障害者歯科・高齢者歯科（摂食嚥下障害への対応，全身疾患への対応，周術期の対応・歯科訪問診療など）				
成績評価の方法		定期試験			
テキスト		歯科臨床の基礎と概論 クインテッセンス出版株式会社			
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義・実習】ペン習字		担当者	林 貞江	一般
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	文字を基本から正しく学び、ボールペン・筆ペン等を使い、読みやすく美しい文字を書くことができるようにする。				
回数	内 容				
1	五十音の平仮名・片仮名を練習する。				
2	漢字の練習をする(基本点画と部首)。				
3	漢字と仮名の交じった文を練習する(縦書き・横書き)。				
4	和・洋の封筒の表書き・裏書き、はがきを練習する。				
5	年賀はがき(筆ペン)、招待状の返信、のし紙、芳名帳を書く。				
6	手紙の書き方、一筆箋を書く。				
7	履歴書を書く。				
8	礼状(ビジネス文書)を書く。				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法					
テキスト					
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義・実習】手書きポップアート		担当者	山下 リール	実務
時期	1年次 前期	選択	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	様々なシチュエーションや目的を想定したカードづくりを体験し、趣旨を分かりやすく伝える能力を習得。病院や医院のイメージアップ、医師と患者のコミュニケーションに役立つ表現力を養う。				
回数	内 容				
1	イラストを使ってコミュニケーションしよう！		<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを描いてみよう ・ポストカードをつくろう 		
2	文字を使ってコミュニケーションしよう！		<ul style="list-style-type: none"> ・手書き文字を書いてみよう ・様々な文具・紙を知ろう 		
3	色を使ってコミュニケーションしよう！①		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚の不思議 ・色とは何か、色が見える仕組み 		
4	色を使ってコミュニケーションしよう！②		<ul style="list-style-type: none"> ・配色について知ろう ・ショップカードをつくろう 		
5	写真を使ってコミュニケーションしよう！		<ul style="list-style-type: none"> ・構図を意識しよう ・コラージュしてみよう 		
6	POPをつくってみよう！①		<ul style="list-style-type: none"> ・飛び出すしかけを知ろう ・戦力的にPOPを制作するには 		
7	POPをつくってみよう！②		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習のまとめとして テーマに合ったポップをつくる 		
8	POPをつくってみよう！③		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習のまとめとして テーマに合ったポップをつくる 		
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	制作物の評価（3段階：A・B・C）、授業態度で評価します。				
テキスト	TOCOL 公式テキスト「Basic」、Fan Deck A、Fan Deck B、Play Deck、ふしぎ独楽、配色サークル を使用します。				
参考書	なし				

令和5年度 授業計画

授業科目	【実習】歯科予防処置論実習		担当者	古林 智子	実務（歯科衛生士）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(30時間)	
到達目標	歯科衛生士が行う歯科予防処置は法的位置づけにおいて業務独占であり、その内容は、スケーリング、歯面研磨、フッ化物の応用、小窩裂溝充填などである。1年次前期では、法的位置づけと業務内容を理解し基礎実習で必要な器具器材の取り扱い方法を身につける。				
回数	内 容				
1	歯科予防処置論の概要				
2	口腔の基礎知識				
3	歯科予防処置に関する基礎実習 ①顎模型の取扱い方				
4	歯科予防処置に関する基礎実習 ②マネキンの取扱い方・術者の姿勢とポジション				
5	歯科予防処置に関する基礎実習 ③ピンセット、デンタルミラーの取扱い方				
6	手用スケーラーの種類と使用目的				
7	手用スケーラーの操作方法（シッケル型スケーラー）				
8	スケーリング実習（シッケル型スケーラー）				
9	スケーリング実習（シッケル型スケーラー）				
10	シャープニング（シッケル型スケーラー）				
11	基礎実習 術者の姿勢とポジション・デンタルミラーの取扱い方				
12	基礎実習 術者の姿勢とポジション・デンタルミラーの取扱い方				
13	1・2年合同 手用スケーラーの基礎知識				
14	歯科予防処置に関する基礎実習 ④口腔内観察（位相差顕微鏡）				
15	まとめ				
成績評価の方法	期末試験、実習態度				
テキスト	【最新歯科衛生士教本】 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬）				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【実習】歯科保健指導論実習		担当者	藤原 柱子	実務（歯科衛生士）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(30時間)	
到達目標	口腔内の構造と口腔清掃（プラークコントロール）の役割を知り、保健指導における基礎知識を習得する。				
回数	内 容				
1	歯科保健指導論の概要 購入器材の確認				
2	口腔の基礎知識 口腔内観察①				
3	口腔環境の基礎知識 口腔内観察②				
4	歯垢染色剤について①				
5	歯垢染色剤について②（相互実習）				
6	プラークチャートの作成と計算①				
7	プラークチャートの作成と計算②				
8	口腔清掃法 手用歯ブラシ 種類と特徴等①				
9	口腔清掃法 手用歯ブラシ 種類と特徴等②				
10	各種ブラッシング方法 その利点・欠点①				
11	各種ブラッシング方法 その利点・欠点②				
12	プラークチャートの作成と計算（PCR復習） プラーク・歯石の指数（相互実習の説明）				
13	ブラッシング相互実習①				
14	ブラッシング相互実習②				
15	歯科保健指導実施のための基礎知識 まとめ				
成績評価の方法	定期試験・提出物・授業態度・忘れ物・身だしなみ				
テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論／歯科材料／歯科機器				
参考書	最新歯科衛生士教本 保健生態学 改訂歯ブラシ辞典 かとうひさこブラッシングガイド				

令和5年度 授業計画

授業科目	【実習】歯科診療補助論実習		担当者	大島 詩織	実務（歯科衛生士）
時期	1年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者にふさわしい身だしなみを整えることができる ・医療安全や感染予防を理解し感染予防対策を実施することができる ・共同動作を身につけることができる 				
回数	内 容				
1	自己紹介・授業オリエンテーション 歯科診療補助の概念 医療安全と感染予防 感染予防対策				
2.3.	小テスト 手指衛生 グローブの装着・脱着の手順 身だしなみ				
	滅菌と消毒① 衛生材料				
4	滅菌と消毒② 医療廃棄物の取り扱い				
5.6.	実験室の使用方法 手指消毒の実習				
	一般診療用機器 回転切削機器 回転切削機器の実習				
7.8.	実習室の使用方法				
	歯科診療における基礎知識 歯科用ユニット				
9.10.	共同動作(マネキン実習)①② 術者・補助者・患者のポジショニング 診療時のライティング バキュームテクニック スリーウェイシリンジテクニック				
11.12.	共同動作(相互実習)①② 術者・補助者・患者のポジショニング 診療時のライティング バキュームテクニック スリーウェイシリンジテクニック				
13	まとめ				
14.15.	共同動作(相互実習)①② フォーハンデッドデンティストリー				
成績評価の方法		定期試験、授業態度、提出物、身だしなみ			
テキスト		歯科診療補助論 第2版、歯科機器、歯科材料			
参考書		イラストと写真でわかる 歯科材料の基礎 第4版			

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義・実習】保健体育		担当者	吉田 升	一般
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	<p>「運動」は体を動かすという本能的な欲求に応え、楽しさや喜びをもたらす、体力の向上やストレスの発散など、心身の両面にわたる健康の維持・増進に資するものである。</p> <p>保健体育では、生活の質 (Quality Of Life ; QOL) の向上における心身の健康の重要性を理解し、そのための運動の実践における基礎知識を身につけることを目的とする。</p>				
回数	内 容				
1	オリエンテーション →授業のガイダンス				
2	講義 →生活習慣病予防のため運動と食事				
3	身体活動・スポーツ				
4	身体活動・スポーツ				
5	講義 →こころの健康				
6	身体活動・スポーツ				
7	講義 →体格・体力と健康				
8	身体活動・スポーツ				
9	講義 →健康に関する論文講読と情報収集				
10	講義 →運動と呼吸・循環 I				
11	研究 I →身体活動中における心拍数の測定				
12	講義 →運動と呼吸・循環 II				
13	研究 II →身体活動中における血圧の測定				
14	講義 →運動による心理的反応				
15	研究 III →運動前後における心理指標の変化				
成績評価の方法	授業態度(50%) + 提出物(25%) + プレゼンテーション(25%)				
テキスト					
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】口腔衛生学 ＜口腔保健統計を含む＞		担当者	城山 博	実務（歯科医師）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。具体的には疾病異常の原因、予防に関する科学的事実と基礎を正しく理解し、必要な知識と技術を身につけ、患者の教育と指導の実践の能力を修得する。				
回数	内 容				
1	口腔衛生学の意義、歯・口腔の健康と機能 ①口腔保健の概要と健康の概念を説明できる。②予防の3相5段階を説明できる。 ③咀嚼の意義を説明できる。				
2	歯・口腔の発育変化 ①歯と口腔の機能を説明できる。②歯と口腔の発育変化を説明できる。 ③歯の形成に必要な栄養素と役割を説明できる。				
3	口腔環境と歯・口腔の付着物・沈着物 ①唾液の作用を説明できる。②ペリクルの意義と特徴を説明できる。 ③エナメル質の萌出後の成熟現象を説明できる。④口腔常在菌の分布の概要を説明できる。				
4	歯・口腔の付着物・沈着物 ①プラークの特徴を説明できる。②マテアリアルバや着色性沈着物の特徴の特徴を説明できる。 ③歯石形成機序と特徴を説明できる。④舌苔の特徴と清掃法を説明できる。				
5	口腔清掃 ①プラークコントロールの意義を説明し、口腔清掃法を分類できる。②歯ブラシの構成を説明できる。 ③歯垢染色剤と口腔清掃の補助清掃用具の特徴を説明できる。④歯磨剤の成分と機能を説明できる。				
6	う蝕の予防 ①う蝕の発生要因と発生機序を説明できる。②う蝕における脱灰と再石灰化平衡を説明できる。 ③う蝕活動性試験を分類し、特徴と判定方法を説明できる。④う蝕予防の3相5段階を説明できる。				
7	歯とフッ化物（1） ①フッ化物の意義と自然界での分布を説明できる。②フッ化物の代謝と急性毒性を説明できる。 ③フッ化物の慢性毒性を説明できる。④フッ化物によるう蝕予防機序を説明できる。				
8	歯とフッ化物（2） ①フッ化物応用の歴史を説明できる。②フッ化物全身応用と局所応用を分類し、特徴を説明できる。 ③フッ化物応用によるう蝕予防効果を説明できる。				
9	歯周疾患の予防 ①歯周疾患を分類できる。②歯周疾患の発生要因とリスクファクターを列挙できる。 ③歯周疾患予防の3相5段階を説明できる。				
10	口臭・不正咬合・他疾患の予防 ①不正咬合の特徴と予防方法を説明できる。②口臭の特徴と予防方法を説明できる。 ③その他の歯科疾患の特徴と予防方法を説明できる。				
11	疫学の概論と研究手法 ①疫学の定義を説明できる。②疫学研究の方法と特徴を説明できる。 ③疫学研究の進め方を説明できる。				
12	う蝕の検出基準と指標 ①数量化の必要性を説明できる。②う蝕検出法を説明できる。 ③乳歯と永久歯のう蝕経験指標を説明できる。				
13	歯周疾患に関する指標および表現法 ①歯肉炎と歯周炎の肉眼的特徴を説明できる。 ②歯周疾患に関する指標を説明できる。				
14	口腔清掃状態、歯のフッ素症と不正咬合の指標 ①口腔清掃状態の指標を説明できる。②歯のフッ素症指標を説明できる。 ③不正咬合の指標を説明できる。				
15	まとめ講義（練習問題）				
成績評価の方法	定期試験 100%				
テキスト	口腔衛生学－口腔保健統計を含む－ 学建書院				
参考書	特になし				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】公衆衛生学		担当者	江國 大輔	実務（歯科医師）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	公衆衛生学は、人間の健康の問題と、それを取り巻くあらゆる環境因子との相互関係を追及する学問である。授業では、公衆衛生学の全体像を学び、健康を集団から理解することを目的とする。				
回数	内 容				
1	衛生学・公衆衛生学の意義と目的				
2	疫学				
3	保健医療統計				
4	感染症対策				
5	栄養・食中毒				
6	環境保健				
7	社会と保健医療の仕組み				
8	地域保健食品と健康				
9	母子保健				
10	学校保健安全				
11	産業保健				
12	成人保健・生活習慣病対策				
13	高齢者保健				
14	障害者福祉・精神保健医療福祉・国際保健				
15	まとめ				
成績評価の方法	受講態度、小テスト、期末試験				
テキスト	新編 衛生学・公衆衛生学（安井利一ら編著 医歯薬出版）				
参考書	保健生態学第3版（一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版）				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】栄養代謝学 I		担当者	下田 裕恵	一般
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	生命科学(人体栄養)を基本にして、栄養学に関する理解を深める。				
回数	内 容				
1	食生活と栄養				
2	栄養素の働き(糖質①)				
3	(糖質②, 食物繊維)				
4	(脂質①)				
5	(脂質②, タンパク質①)				
6	(タンパク質②, ビタミン①)				
7	(ビタミン②)				
8	(ミネラル①)				
9	(ミネラル②, 水)				
10	栄養素の消化・吸収				
11	エネルギー代謝				
12	食事摂取基準				
13	食生活と健康				
14	食べ物と健康				
15	まとめ				
成績評価の方法	定期試験, 小テスト, 授業態度				
テキスト	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝 (医歯薬出版)				
参考書	八訂食品成分表 2020(女子栄養大学)				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】保存修復学		担当者	後藤 桂太郎	実務（歯科医師）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	臨床歯科医学の一分野である保存修復学の基礎知識を習得し、確実かつ円滑な診療、および診療補助の裏付けとすることを目的とする。				
回数	内 容				
1	保存修復学とはいかなる学問か、保存修復の適応症、禁忌症について。				
2	歯の硬組織欠損 急性う蝕と慢性う蝕 う蝕の進行と形態 う蝕円錐 う蝕の分類 について。				
3	窩洞とは何か。G. V. Black の分類 窩洞各部の名称 窩洞形態の原則について。				
4	保存修復の種類 ラバーダム防湿 歯肉圧排法について。				
5	歯間分離法 隔壁法 歯髄保護法 仮封 について。				
6	窩洞形成用器具、器械、レーザー機器について。				
7	コンポジットレジン修復（成分組成、種類など）について。				
8	コンポジットレジン修復（特徴、エッチング、プライミング、ボンディング、 およびセルフエッチングシステムなど）について。				
9	コンポジットレジン修復の適応症、禁忌症、臨床術式 について。				
10	ガラスイオノマーセメント修復（種類、組成、特徴、適応症、禁忌症、臨床術式など）について。				
11	各種合着用セメントの成分組成、用途、練和法、特徴について。				
12	各種仮封用セメントの成分組成、特徴について。				
13	インレー修復（特徴、臨床および技工ステップ、印象法、仕上げ研磨、合着など）について。 CAD/CAM 法について。				
14	ラミネートベニア修復（種類、特徴、適応症、禁忌症など）について。				
15	ホワイトニングについて。				
成績評価の方法	定期試験				
テキスト	最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法(医歯薬出版)				
参考書	講義用プリント冊子				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】歯内療法学		担当者	逸見 浩史	実務（歯科医師）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	硬組織疾患から歯髄及び根尖周囲組織に拡張した場合の病状の変化とその治療法ならびに予防法について学ぶ				
回数	内 容				
1	歯内療法の概要・歯の痛み				
2	歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状と診断				
3	〃				
4	歯髄・根尖性歯周組織疾患の処置方針				
5	歯科衛生士の歯内療法のかかわり 処置内容の理解と術後管理				
6	歯髄の保存療法				
7	〃				
8	歯髄の除去療法				
9	〃				
10	抜髄の目的・意義・必要な器具 根管拡大・形成・清掃・貼薬				
11	感染根管治療の術式・器具・清掃・消毒剤の所要性質				
12	根管充填の方法				
13	根管充填材の所要性質と種類・充填法				
14	外科的歯内療法 歯内療法における偶発症				
15	歯内療法用薬剤とその用途 総括				
成績評価の方法	試験及び出席状況				
テキスト	歯内療法学（医歯薬出版社）				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】歯周療法学		担当者	池田 泰章	実務（歯科医師）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	歯周病がどのような病気であるか、原因や進行のメカニズムを理解し、どのような予防法、治療法が適切であるかを知る。その目的や理論を理解する。				
回数	内 容				
1	歯科衛生士と歯周治療		歯周組織と歯周病、歯周治療学とは 歯周治療における歯科衛生士の役割		
2	歯周組織の構造と機能		歯周組織、歯周組織の構造、歯周組織の機能		
3	歯周疾患①		歯周疾患とその成り立ち		
4	歯周疾患②		歯周疾患の原因		
5	歯周治療の進め方		歯周疾患の治療と予防の基本的考え方、歯周治療の進め方		
6	歯周疾患の診査と診断		主訴を中心とした一般診査、歯周組織の診査、咬合の診査 X線写真による診査、口腔内カラー写真		
7	イニシャルプレパレーション (歯周基本治療)		イニシャルプレパレーションの概念と歴史 イニシャルプレパレーションの処置内容について		
8	口腔清掃指導①		口腔清掃指導の重要性と歯科衛生士の役割 モチベーション（動機づけ）		
9	口腔清掃指導②		ブラッシングのテクニック指導、補助的清掃法とその指導法 口腔清掃指導の効果判定と失敗の対策		
10	スケーリング ルートプレーニング①		スケーリング・ルートプレーニングの意義と目的、行う時期 行う部位と診査法、用いる器具と装置		
11	スケーリング ルートプレーニング②		スケーラー使用時の基本原則、スケーラーの研ぎ方 スケーリングとルートプレーニングの実際		
12	外科的歯周治療①		外科的歯周治療と歯科衛生士の役割 基本手技と使用器具、歯周組織の治療の形態		
13	外科的歯周治療②		ポケット搔爬術、新付着術、歯肉切除術、フラップ手術 歯肉歯槽粘膜外科手術、組織再生誘導法（GTR法）		
14	咬合性外傷に対する治療法		咬合調整、矯正治療、固定法		
15	メンテナンス		メンテナンスの重要性、メンテナンスの方法、リコールシステム メンテナンスにおける歯科衛生士の役割		
成績評価の方法		定期試験、小テスト			
テキスト		最新歯科衛生士教本 歯周病学（第2版）			
参考書		歯科衛生士教本 歯周病治療の基礎と臨床（永末書店）			

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】歯科補綴学		担当者	内田 欣臣	実務（歯科医師）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	歯科補綴学の基礎知識、専門用語および、用具等の知識を習得し、また、補綴治療の流れを習得する。				
回数	内 容				
1	歯科補綴学総論 補綴処置の目的、種類				
2	歯科補綴学総論 補綴処置の目的、種類				
3	歯科補綴学総論 顎運動、顎関節				
4	各論 クラウン 種類と適応				
5	クラウン 種類と適応				
6	クラウン 臨床での手順				
7	クラウン 衛生士の役割と患者指導、小テスト				
8	ブリッジ 種類と適応と手順				
9	ブリッジ 患者指導、クラウン、B r				
10	部分床義歯 種類と適応				
11	部分床義歯 構造と臨床手順				
12	全部床義歯 臨床手順				
13	全部床義歯 臨床手順と患者指導、小テスト				
14	インプラントや、その他の特殊な義歯				
15	補綴処置全般の衛生士の役割について				
成績評価の方法	定期試験、小テスト、授業態度				
テキスト	新歯科衛生士教本 歯科補綴学（医歯薬出版）				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】歯科矯正学		担当者	寺門 恵一	実務（歯科医師）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	不正咬合や咀嚼障害の原因・治療法およびその予防法の基本的知識を理解することを目的とする。				
回数	内 容				
1	歯科矯正学概論		①歯科矯正学と矯正歯科治療の目的 ②矯正歯科治療の需要と必要性 ③矯正歯科治療のベネフィットとリスク ④矯正歯科治療とチーム医療		
2	成長・発育		①身体の成長・発育 ②頭蓋および顎顔面の成長・発育 ③歯・歯列の成長・発育 ④口腔機能の発達		
3	正常咬合と不正咬合		①正常咬合 ②不正咬合		
4	不正咬合の分類と原因		①分類 ②一般的原因 ③局所的原因		
5	不正咬合の予防		①乳歯齲蝕，早期喪失の治療 ②晩期残存乳歯の抜去 ③口腔習癖の改善 ④上下顎関係の異常に対する早期治療 ⑤下顎の機能的偏位の改善 ⑥歯周疾患の治療と管理		
6	矯正歯科診断（1）		①矯正歯科治療における診断 ②矯正歯科診断に必要な検査 1. 形態検査 2. 画像検査 3. 機能検査 4. 齲蝕・歯周病リスクの検査		
7	矯正歯科診断（2）		③症例分析 ④非抜歯治療と抜歯治療		
8	矯正歯科治療と“力”		①歯の移動と固定 ②歯の移動と組織反応 ③歯の移動様式 ④矯正力と顎整形力 ⑤保定		
9	矯正装置（1）		①可撤式矯正装置 ②固定式矯正装置		
10	矯正装置（2）		③機能的矯正装置 ④上顎（側方）拡大装置		
11	矯正装置（3）		⑤顎外固定装置 ⑥口腔習癖除去装置 ⑦保定装置		
12	矯正歯科治療の実際（1）		①上下顎の前後的關係の不調和 ②上下顎の垂直的關係の不調和（過蓋咬合・開咬）		
13	矯正歯科治療の実際（2）		③成人矯正 ④口腔顎顔面の形成異常と変形 ⑤歯の埋伏と歯数の異常 ⑥矯正歯科治療時のトラブルへの対応 ⑦健康保険が適用される矯正歯科治療		
14	矯正歯科臨床における 歯科衛生士の役割（1）		①矯正歯科診断に関わる業務 ②矯正歯科診療時の業務		
15	矯正歯科臨床における 歯科衛生士の役割（2）		③矯正歯科患者と口腔保健管理 ④口腔筋機能療法 ⑤機材，資料，文書の管理		
成績評価の方法		定期試験 授業態度 実習の評価⑦			
テキスト		最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正（医歯薬出版） スライド セファロトレース			
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】齲蝕予防処置		担当者	城山 博	実務（歯科医師）
	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	齲蝕予防処置法に関する基礎的知識と実習や臨床の場における手順・注意点等を習得し、合せて集団応用に関して習得する。				
回数	内 容				
1	齲蝕予防と予防法の相違と第1次、2次、3次予防の範囲の確認をし、セルフケア、プロフェッショナルケア、パブリック・ヘルス・アクティビティの3相と5ステップを知る。				
2	齲蝕予防処置法の種類と歯科衛生士の役割を学ぶ。				
3	齲蝕の知識を整理し、その特性を知る。				
4	齲蝕の病原論を知り、宿主側の条件と日常生活とのかかわりを学ぶ。				
5	齲蝕の感受性・活動性の知識と活動性試験種類と実習方法を知る。				
6	活動性試験の具体例を学ぶ。				
7	エナメル質表層の構造特性とその種類を学ぶ。				
8	フッ素の分布、歯科的応用とその齲蝕抑制機序を学知る。				
9	フッ素の生体における吸収・沈着・排泄とその中毒に関する対応・注意点を学ぶ。				
10	(実習編) 齲蝕予防処置法の種類・注意事項を知り、フッ化物の基礎知識と局所応用法を学ぶ。				
11	フッ化ジアミン銀の応用、小窩裂溝填塞法、その他の知識の再確認をする。				
12	フッ化物溶液とゲルの局所塗布法の知識と保健指導と確認実習の注意点を学ぶ。				
13	フッ化ジアミン銀塗布法の実習方法と後始末、小窩裂溝填塞法の実習注意点を学ぶ。				
14	齲蝕予防処置法の臨床応用に関する配慮点を学び各種方法具体例を知る。				
15	集団応用と公衆歯科衛生活動における現場活動を知り、特徴・場面・実施の計画の立て方、ロールプレイング実習の在り方・実施例を学ぶ。				
成績評価の方法	定期試験 中間試験 授業態度				
テキスト	歯科衛生士教本 齲蝕予防処置法 (医歯薬出版)				
参考書	新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 (医歯薬出版)				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】歯科放射線学		担当者	秋田 和俊	実務（歯科医師）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	歯科診療補助のひとつであるエックス線撮影補助における知識と技術を習得する。 また放射線防護に関する正しい知識を習得する。				
回数	内 容				
1	1 放射線とエックス線				
2	1 放射線とエックス線				
3	2 放射線の影響				
4	3 歯科用エックス線撮影装置				
5	4 エックス線画像の形成				
6	4 エックス線画像の形成				
7	5 撮影法(口内法)				
8	6 撮影法(口外法)				
9	7 フィルム処理 8 デジタルエックス線システム				
10	9 正常なエックス線画像				
11	10 病変の画像例				
12	11 放射線の防護と管理				
13	12 放射線治療				
14	撮影補助実習① / エックス線解剖学と口腔病変のエックス線像				
15	撮影補助実習② / エックス線解剖学と口腔病変のエックス線像				
成績評価の方法	定期試験、小テスト、レポート、実習、その他				
テキスト	歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第3版				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】マナー教室		担当者	秋鹿 悦子	一般
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	<p>選ばれる歯科医院（医療機関）になるためには、優れた技術のほかに感じの良い接遇能力が必須です。この科目では、職員間のコミュニケーション・患者様に対する接遇マナー・社会人としての基本的なマナーを学び身に着けることを目標とします。</p>				
回数	内 容				
1	コミュニケーションの仕組み、ホスピタリティとケア・コミュニケーション				
2	好感・安心感を高めるコミュニケーション 表情と視線				
3	好感・安心感を高めるコミュニケーション 服装と身だしなみ				
4	好感・安心感を高めるコミュニケーション 敬語の種類と使い方				
5	好感・安心感を高めるコミュニケーション 敬語の使い分け・リフレーミング				
6	好感・安心感を高めるコミュニケーション スタッフの声がけ・具体的な窓口対応				
7	被援助者の理解と情報交換、行動化の支援 受容と共感				
8	チームワークとコミュニケーション・前期末確認テストの実施				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	プリント提出（50%）・確認テスト（40%）・授業態度（10%）				
テキスト	「歯科スタッフのためのケア・コミュニケーション」（ウィネット）				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【実習】歯科予防処置論実習		担当者	古林 智子	実務（歯科衛生士）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(60時間)	
到達目標	歯科衛生士が行う歯科予防処置は、歯の喪失を防ぎ、健全な咀嚼を維持できるよう、歯・口腔の健康状態を保つ歯科疾患の予防を目的としている。2年次前期では、歯周基本治療における歯科衛生士の役割について理解し、口腔衛生指導および、スケーリング・ルートプレーニング、歯面研磨、パワースケーラー操作を習得する。				
回数	内 容				
1	口腔内の付着物・沈着物				
2	歯の動揺度・歯間離開度・付着歯肉幅の測定				
3	歯面研磨・歯面清掃（PTC，PMTC）				
4	歯面研磨・歯面清掃（PTC，PMTC）				
5	歯面研磨・歯面清掃（PTC，PMTC）				
6	歯面研磨・歯面清掃（PTC，PMTC）				
7	歯面研磨・歯面清掃（PTC，PMTC）				
8	歯周組織検査、スケーリング、歯面研磨				
9	歯周組織検査、スケーリング、歯面研磨				
10	ヒューフレディ シャーピングセミナー				
11	歯周疾患の指数				
12	パワースケーラー（エアスケラー）・歯面清掃器				
13	1・2年 合同実習準備				
14	1・2年 合同実習				
15	まとめ				
成績評価の方法	期末試験、実習態度				
テキスト	【最新歯科衛生士教本】歯周病学（医歯薬） 【最新歯科衛生士教本】歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬）				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【実習】歯科保健指導論実習		担当者	有田 泰子	実務（歯科衛生士）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(30時間)	
到達目標	1. 各ライフステージ別の対象者の一般的特徴と口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる 2. 各ライフステージ別の口腔衛生指導ができる 3. 特別配慮を要する対象者（全身疾患患者・障がい者・大規模災害被災者）に対する口腔衛生指導ができる				
回数	内 容				
1	ライフステージにおける歯科衛生介入 妊娠期の口腔清掃法と口腔管理指導				
2	授乳期・新生児期一般的特徴と口腔の特徴及び歯科保健指導				
3	乳児期・幼児期の口腔清掃法と口腔管理指導				
4	乳児期・幼児期の口腔清掃法と口腔管理指導				
5	グループワーク：妊娠期・幼児期の口腔清掃法と口腔管理指導（状況設定問題）				
6	グループワーク：妊娠期・幼児期の口腔清掃法と口腔管理指導（状況設定問題についての発表）				
7	学齢期の口腔保健の実態と健康教育①				
8	学齢期の口腔保健の実態と健康教育②				
9	青年期の口腔清掃法と口腔管理指導				
10	成人期の歯科保健指導（NCDs、喫煙指導、ストレスマネジメント）				
11	実習：青年期における口腔衛生指導の実際				
12	実習：青年期における口腔衛生指導の実際				
13	老年期の歯科保健指導・配慮を要する者、要介護者に対する口腔保健管理				
14	大規模災害被災者に対する口腔清掃法と口腔管理指導・全身疾患患者に対する口腔衛生指導				
15	まとめ				
成績評価の方法	定期試験・出席状況・授業態度・提出物				
テキスト	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 最新歯科衛生士教本「保健生態学」				
参考書	歯科口腔保健の推進に向けてライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック				

令和5年度 授業計画

授業科目	【実習】歯科診療補助論実習		担当者	大島 詩織	実務（歯科衛生士）
時期	2年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(30時間)	
到達目標	歯科診療で取り扱う歯科材料の種類や用途を理解し、手順どおりに実施することができる 暫間被覆冠の用途や作製方法を理解し、作製することができる				
回数	内 容				
1.2.	口腔内写真撮影①②				
3.4.	口腔内写真撮影③④				
5.6.	合着・接着材①②				
7.8.	合着・接着材③④				
9.10.	仮封材①②				
11.12.	仮封材③④				
13.	仮着材①				
14.15.	印象材(アルジネート・寒天・シリコーンゴム)、その他の印象材、ワックス①② 印象材(アルジネート・寒天・シリコーンゴム)の補助①②				
16.17.	印象材(アルジネート・寒天・シリコーンゴム)の実習①②				
18.19.	暫間修復材①②				
20.21.	暫間被覆冠作製・セメント練和①②				
22.23.	暫間被覆冠作製・セメント練和③④				
24.	まとめ 暫間被覆冠作製・セメント練和⑤				
25.26.27.	暫間被覆冠作製・セメント練和(実技テスト)①②				
28.29.30.	暫間被覆冠作製・セメント練和(実技テスト)③④				
成績評価の方法	定期試験・身だしなみ・提出物・実技テスト				
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 最新歯科衛生士教本 歯科材料, 最新歯科衛生士教本 歯科器械				
参考書	イラストと写真でわかる 歯科材料の基礎 第4版				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】衛生行政		担当者	平岩 弘	実務（歯科医師）
時期	3年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	歯科衛生士法について熟知するとともに、各種身分法に抵触することなく業務ができるように、法律の目的や内容について理解する。また、歯科衛生士として必要な衛生行政・衛生関係法・保健医療の動向・社会保障制度などの歴史的経緯・概念、現在の姿などを理解することを目的とする。				
回数	内 容				
1	衛生行政の目的、沿革、組織およびその背景について				
2	衛生行政の目的、沿革、組織およびその背景について				
3	衛生関係法の概論および歯科衛生士法について				
4	衛生関係法について				
5	衛生関係法について				
6	保健医療の動向				
7	社会保障制度				
8	衛生行政のまとめ				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法		定期試験結果			
テキスト		歯科衛生士のための 衛生行政 医歯薬出版			
参考書		配布資料			

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】社会福祉		担当者	山本 道代	実務（ 歯科医師 ）
時期	3年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	今、日本では少子化による人口減少や急速な高齢化によって起こる様々な問題、ワーキングプア、児童虐待など福祉に対するニーズは様々です。福祉とは何か、その歴史や諸制度、施策などを学びたいと思います。				
回数	内 容				
1	社会福祉とは何か、その理論と歴史				
2	社会福祉の仕組み				
3	貧困を考える				
4	子供の育ちを支える				
5	子供の学習と発達を支える				
6	自立を支える				
7	高齢化社会を考える				
8	助け合う・支えあう、共に暮らせる社会				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	定期試験				
テキスト	歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 医歯薬出版株式会社				
参考書	図表で読み解く社会福祉入門 ミネルヴァ書房				

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】社会保険業務		担当者	太田 靖	実務（歯科医師）
時期	3年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 臨床における一般保険診療の流れ カルテ記載内容の把握（カルテ用語・保険略号等の習熟） 保険請求業務の修得 				
回数	内 容				
1	社会保険の概要（制度・種類・組織等）				
2	保険医療の実務 臨床における診療の流れ（保険証のとりあつかい及びカルテの記載） カルテ用語・保険略号によるカルテ内容の把握				
3	傷病名等の略称 診療報酬明細書（レセプト）請求項目の概略				
4	歯周疾患（P ₁ ～P ₃ ）レセプト作成練習 （歯周初期治療からメンテナンスの流れについて）				
5	う蝕治療（CO～C ₄ ）レセプト作成練習				
6	歯周疾患・う蝕治療混在レセプト作製練習				
7	欠損補綴レセプト作成練習 （外科からB r 作製までの治療の流れについて）				
8	欠損補綴レセプト作成練習 （有床義歯に関する治療の流れについて）				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	定期試験				
テキスト	歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険（医歯薬出版）				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】高齢者歯科学		担当者	黒木祐二 古林智子	実務 (歯科医師・歯科衛生士)
時期	3年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	高齢期における口腔の特徴や生活者としての特性を理解する。また、対象者のQOLの向上につながる口腔のケア及び口腔機能への支援を学ぶ				
回数	内 容				
1	高齢者入所施設・通所サービス事業における口腔健康管理実習の概要				
2	対象者把握（ケアプラン、看護記録、口腔内観察記録）				
3	アセスメントに基づく口腔健康管理プランの作成 ①コミュニケーションプランニング ②食べる機能のトレーニング ③個別指導のための指導計画書立案				
4					
5					
6	訪問医療における口腔ケアを円滑に提供するための手段や方法（演習） 他職種連携における歯科衛生士の役割				
7	口腔細菌と全身疾患との関連について学ぶ 口腔ケアの基本とその効果及びさまざまなケア用品について体験実習				
8	まとめ				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	実習レポート、出席状況、実習・授業態度				
テキスト	臨地実習 HAND BOOK（クインテッセンス出版株式会社） 最新歯科衛生士教本（医歯薬出版株式会社）				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】介護福祉論		担当者	黒木 祐二	一般（歯科医師）
時期	3年次 前期	必修	単位(時間数)	2単位(30時間)	
到達目標	介護に関する知識と技術の学習				
回数	内 容				
1	介護の基礎知識①：高齢社会と介護				
2	介護の基礎知識②：歯科衛生士の役割				
3	介護の基礎知識③：基礎知識・多職種連携・コミュニケーション				
4	介護の基礎知識④：老化と障害の知識				
5	介護保険制度				
6	介護を実施するための必要な関連知識・介護の実際①（実習含む）：移乗など				
7	介護を実施するための必要な関連知識・介護の実際②（実習含む）：移乗など				
8	介護の実際③（実習含む）：体位変換・着替えの介助など				
9	介護の実際④（実習含む）：体位変換・着替えの介助など				
10	歯科と介護サービス①（実習含む）：歯科介護の実際				
11	歯科と介護サービス②（実習含む）：口腔管理・リハビリテーションの実際				
12	歯科と介護サービス③（実習含む）：摂食・嚥下など				
13	歯科と介護サービス④（実習含む）：試験対策など				
14	歯科と介護サービス⑤（実習含む）：実習のまとめなど				
15	総まとめ				
成績評価の方法	小テスト、実習テスト、定期試験				
テキスト	高齢者歯科学				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【講義】救急蘇生・全身管理学		担当者	竹林 俊明	実務（歯科医師）
時期	3年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(15時間)	
到達目標	救急時の状態と対処法、有病者の病態と対応、および麻酔について習得し、適切に対応できることを目的とする。				
回数	内 容				
1	救急処置に必要な基礎知識				
2	一次救命処置（BLS）				
3	二次救命処置（ALS）				
4	バイタルサイン				
5	歯科診療時における全身偶発症				
6	有病者の歯科治療に際しての知識と注意点				
7	局所麻酔・精神鎮静法・全身麻酔				
8	総まとめ				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価の方法	定期試験、授業態度				
テキスト	歯科麻酔学・全身管理学（歯科衛生士テキスト 学健書院） 口腔外科・歯科麻酔（最新 歯科衛生士教本）				
参考書					

令和5年度 授業計画

授業科目	【実習】歯科保健指導論実習		担当者	有田 泰子	実務（ 歯科衛生士 ）
時期	3年次 前期	必修	単位(時間数)	1単位(30時間)	
到達目標	生涯を通じた口腔保健管理ができる指導能力を習得するために、各フィールドにおける対象者の理解を深め、健康教育計画を立案し、伝達方法を学び実践することができる				
回数	内 容				
1	地域歯科保健活動における健康教育				
2	地域歯科保健活動のフィールド				
3	指導案・教育媒体について				
4					
5	指導案・教育媒体・リーフレット・ストーリー作成				
6					
7	指導案・教育媒体・リーフレット作成・演出				
8					
9	指導案・教育媒体・リーフレット作成・演出				
10					
11	指導案・教育媒体・リーフレット作成・演出				
12					
13	障害児に対する歯科保健指導				
14					
15	まとめ				
成績評価の方法	出席状況・提出物・授業態度・忘れ物・期末試験				
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 最新歯科衛生士教本 保健生態学 歯科衛生士サブテキスト 臨地実習				
参考書					